

CMI 株式会社

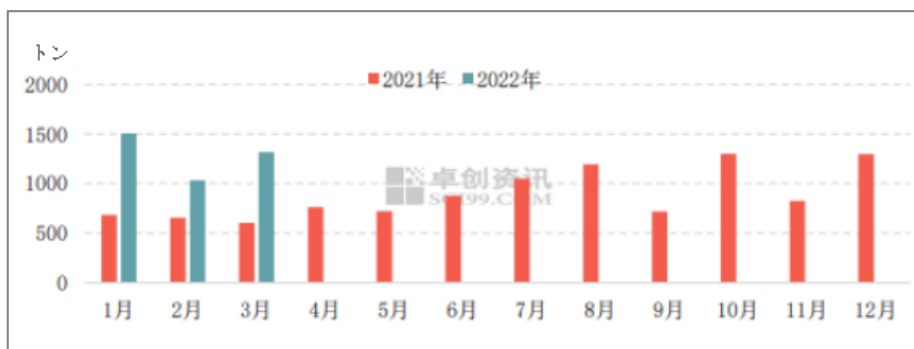
横浜市鶴見区東寺尾中台20～3,301

TEL : 045～717～8575 FAX: 045～717～8683

中国、石炭ピッチの輸出入について

2022年第1四半期、中国ではニードルコークス産業の景気回復によって石炭ピッチの需要が高まり、前年同期より輸入量が増加した。また、国内の需要増加に加えて価格が上昇したため、輸出量は減少した。

第2四半期はニードルコークス産業が好調に推移し、海外の石炭ピッチの需要量が増え、輸出入量は前年同期を上回ると予測されている。

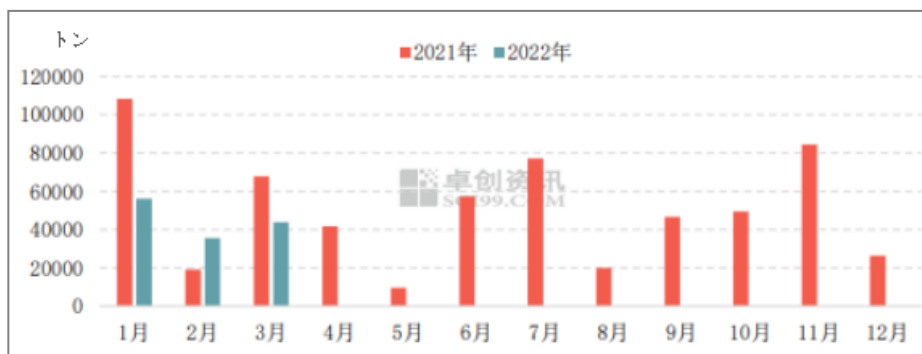


出典：卓創資訊

図1 中国の石炭ピッチ輸入量（2021～2022年）

第1四半期の中国石炭ピッチの輸入量は3855.76トンで、前年同期より98.87%増加した。平均輸入価格は1113.2ドル/トンで、前年同期比41.07%増となった。

第1四半期のニードルコークスの市場価格は著しく上昇した。需要拡大によって稼働率が高まり、石炭ピッチの需要が増える一方で石炭ピッチの生産量が少ないため、輸入量が大幅に増加した。



出典：卓創資訊

図2 中国の石炭ピッチ輸出量（2021～2022年）

第1四半期の石炭ピッチの輸出量は13万5482.85トンで、前年同期より30.59%減少した。平均輸出価格は970.2ドル/トンで、前年同期より81.48%上昇した。

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

TEL : 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

第1四半期の中国の石炭ピッチはこれまでにない高価を維持し、輸出向けの価格優位性が低下した。また、中国国内の需要増加は輸出量を削減する主な原因となった。

原油価格高騰の背景の下で第2四半期は新エネルギー産業を積極的に発展させ、引き続きニードルコックス市場の好調を維持し、石炭ピッチ輸入量が増加すると見込まれている。輸出価格が高騰している中、石炭ピッチ生産量が最も多い国として第2四半期の輸出量の増加が予測されている。

情報源：卓創化工より。